

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	制度に関する職員の理解と入居者の家族に対する支援体制が必要。	職員だけでなく、入居者を支える多くの方々に制度の内容を理解して頂けるような体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対して勉強会を実施し、制度に対する理解の周知を図る。(又、外部の勉強会にも参加を促し、理解を深める) 制度に関する資料(リーフレット)の充実と設置場所の工夫や情報提供の機会を設ける。(運営推進会議等での情報提供行う) 	12ヶ月
2	5	身体拘束の対象となる行為への理解・学習の機会が必要。	どのような行為が、身体拘束に該当するのかを再度理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対して勉強会を実施し、制度に対する理解の周知を図る。(又、外部の勉強会にも参加を促し、理解を深める) 拘束中の事例に対する経過を追い開放的手段に導ける様に務める。 	12ヶ月
3	16	・災害時のマニュアルや食料の備蓄に見直しが必要。(避難訓練には地域の人的支援が必要。)	誰もが見てわかる災害時のマニュアルの作成と備蓄の把握と充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 食料や飲料について3/14現在(3日分の食料と100リットルの水を確保済み) 備蓄保管場所の統一と把握 掲示用マニュアル作成の作成(簡略化) 人的支援の為の避難訓練お知らせ配布や運営推進会議等で協力の呼びかけを行う。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。